

### 3. 大水害の惨状

---



昭和42年7月9日に降った記録的豪雨は、午前11時の満潮と なった  
こともあり、河川が氾濫し、福江川流域に住む人々の暮らしに大き  
な犠牲と苦しみを与えました。

# ① 開田町の被災



浸水した開田町(トミタ陳列)



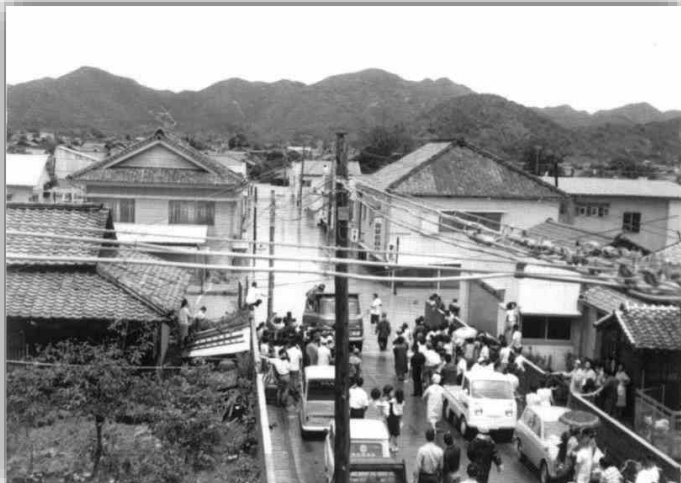
大量の土砂が流入 (五島市役所駐車場)



水につかった店舗 (和田衣料)

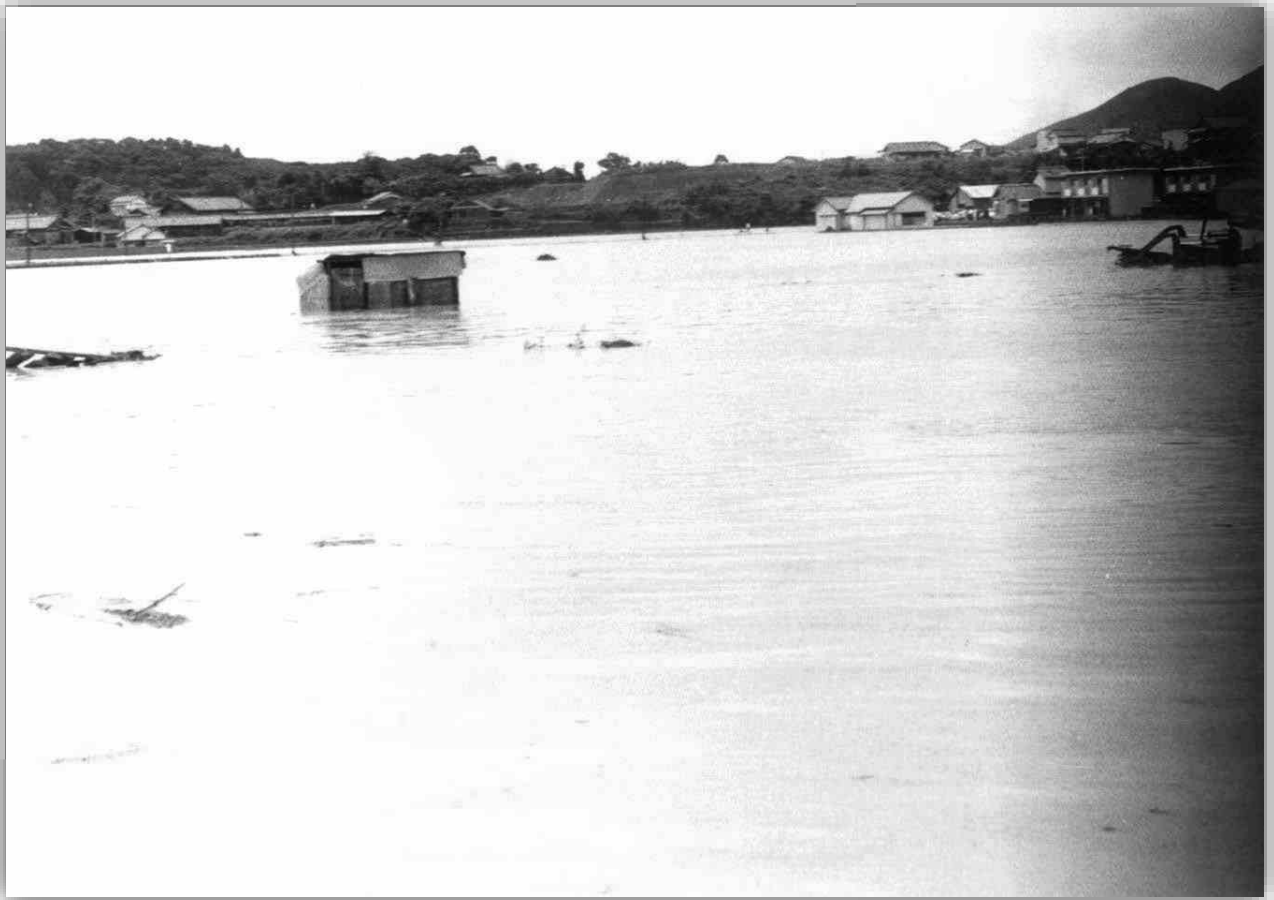


水が引いた店舗 (吉田電気通り)



浸水して避難した住民 (開田町)

② 福江川の氾濫



浸水した田園地帯は福江川との境界がわからない（大荒町）



濁流の猛威に耐える木



水没する中央橋(宗念寺)

### ③ 大洪水の凄まじい破壊力



福江川の氾濫により全壊した住宅



床上浸水と一部損壊した住宅



濁流により住宅の壁が失われた



半壊した住宅



住宅の中まで水や土砂が浸入した

④ 破壊された建物



氾濫した水により1階部分が流出した住宅



氾濫により傾いてしまった住宅



住宅は全壊を逃れたものの石垣は流出



土石流被害にあった住宅



濁流の力で倒された建物

## ⑤ 破壊された道路



水は引いたものの、泥道となり長靴は必要であった

唐人町、松山町付近



バケツで水くみ



氾濫した水の力はすさまじく舗装も破壊されるほどであった

五島市大荒町(新一番町)



河川の氾濫で水没する道路

⑥ 破壊された県道

大円寺 門前



県道の路肩が流出しバスが通るのも危ない状況であった



洪水が引いた後も県道に残る土砂

## ⑦ 冠水した田んぼ



福江川からあふれた濁流は瞬く間に田畑をのみこんだ



田に残る瓦礫の山



荒廃した田



変わり果てた田(右側のブロックが崩壊した河川護岸)



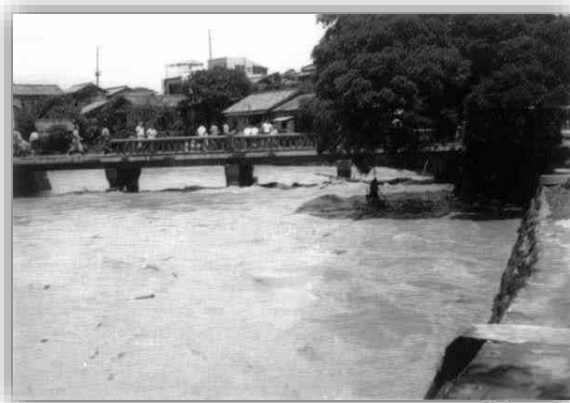
⑧ 街中の惨状



洪水が引いた後には大量の土砂や瓦礫が残された (颯川橋バス停<sup>えがわ</sup>)



橋脚には大きな木の根が引っ掛った(颯川橋左岸)



洪水も引いてきて住民が渡り始める (颯川橋ナタオレの木)



町ゆく人々



水が引いた後泥水に浸かった家財を天日干しにしている様子

## ⑨ 福江川に架かる橋



石橋を越えて勢いを増す濁流(五島振興局裏)



孤立する大円寺茶屋(カツパ池)



心配そうに見守る人々(中野橋)



医王寺橋付近も溢れ道路と河川の区別がわからなくなった

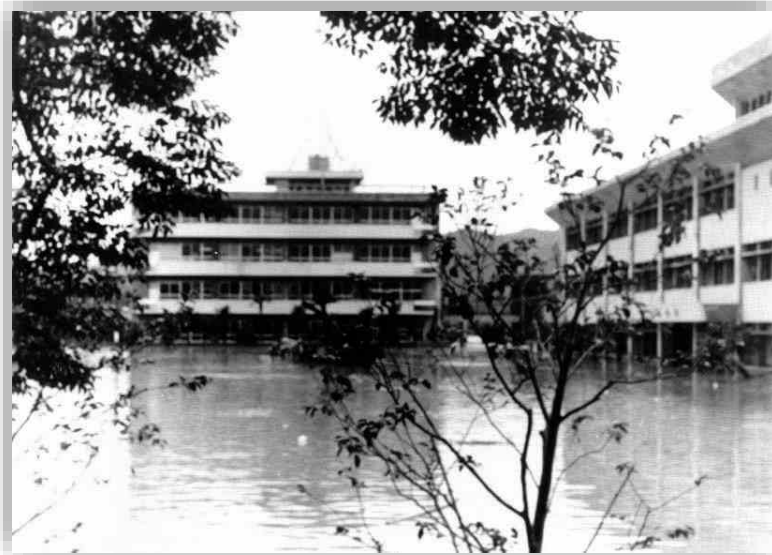


大量のゴミが引っ掛かった大円寺橋

10 行政機関の被災



腰の高さまで浸水した五島市役所



浸水した行政機関(左:五島振興局・右:五島市役所)



浸水後の福江町交差点



五島市役所屋上から撮影